

【別添2】

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校
(通信制課程)

学校番号 5813

I 自己評価

1 学校教育目標	1 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 2 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身につけさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。	
2 評価する領域・分野	◇学習指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	今年度実施した保護者や生徒による学校評価、生徒による授業評価では、96%の保護者が本校通信制はこの地域に不可欠な存在とし、97%の生徒が先生方の指導に熱意や誠意があると評価している。また、生徒の97%が本校に入学できてよかったと回答し、報告課題の添削指導や個別指導に対する肯定的評価も、保護者、生徒とも9割前後であり、本校の取組は高く評価されていると考える。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇基礎的・基本的な学力の修得 ◇自ら学ぶ意欲や態度が育つような学習環境づくり	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	校長→副校長→教頭→検討会→職員会議 教務主任・教科担任・HR担任	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) レポート内容の見直しを行い、取り組みやすい内容に改善する。また、自分で情報を取りに行き役立てる力を育てるため、レポートに放送視聴を取り入れる。</p> <p>(2) 個別スクーリングを活用させ、学力の不安な生徒に対する支援を行う。</p> <p>(3) 生徒による授業評価や、保護者による学校評価などを行い、授業改善を行う。</p>	<p>(1) 保護者や生徒による学校評価、生徒による授業評価（授業改善を図る）</p> <p>(2) 各科目の単位修得率を算出（生徒の理解度や継続する力を判断）</p> <p>(3) スクーリングや出席、レポート提出状況を確認（生徒の学習状況の把握）</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> 放送視聴を取り入れるなどレポートの内容を工夫し、評価基準に則った添削指導をした。 学力不足と思われる生徒には精神面でのケアもしながら個別指導を受けるように指導した。 個々の生徒に対して職員間での情報交換を密にし、個に応じた対応を心がけた。 	<p>①レポートの改善ができたか。</p> <p>②個別支援が充実していたか。</p> <p>③保護者や生徒の意見を反映した授業改善ができたか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p>
成果・課題	<p>○個別指導を利用した生徒数は昨年並みの多さである。単位修得につなげるとともに、引き続き個別指導と放送教育を両軸に指導していく必要がある。</p> <p>▲今年度入学生の単位修得者数は、依然として低く（36名中単位修得が見込める生徒数は31名）、早期学校適応が課題である。また学力だけでなく人とのコミュニケーション能力に課題を持っている生徒も少なくない。</p> <p>▲レポートに多くの教科で放送視聴課題を取り入れているものの、更なる工夫が必要である。生徒が安心してレポートに取り組めるよう、明確な評価基準に則った添削指導を続ける必要がある。</p>	
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な個別指導の継続（個に応じた指導・支援） レポートの評価基準の順守 放送教育を活かした学習指導の充実 ソーシャルスキルの指導 		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年1月26日

【意見・要望・評価等】

- 通信制は、飛騨地域のセーフティーネット的な役割を果たしている。また、不登校経験者や転編入生徒を受け入れて、丁寧に教育活動を行っていて、大変ありがたい。
- 通信制教育には、学力を高めることと同様に、人と人とのコミュニケーション力をつけることが、求められている。

